2023年度 再資源化等業務の実績

公益財団法人自動車リサイクル促進センター 再資源化支援部

【2023年度の使用済自動車再資源化等の概要】 期間: 2023年4月1日～2024年3月31日

＜ 自動車メーカー・輸入業者からの受託業務の再資源化量等の実績 ＞

◆ 再資源化等契約状況（2024年3月31日時点）

コード	契約者の氏名又は名称	契約締結年月日
013	株式会社 光岡自動車	2004年10月1日
015	トヨタ車体 株式会社	2013年11月1日
016	GLM 株式会社	2015年 1月1日
603	株式会社 オートリーゼン	2004年10月1日
604	株式会社 LUFTホールディングス	2004年10月1日
611	ゼネラルモーターズ・ジャパン 株式会社	2004年10月1日
612	Hyundai Mobility Japan 株式会社	2004年10月1日
614	ウイルプラスチェッカーモータース 株式会社 株式会社	2004年10月1日
615	エルシーアイ 株式会社	2004年10月1日
618	ニコル・レーシング・ジャパン 合同会社	2004年10月1日
621	ポルシェジャパン 株式会社	2004年10月1日
622	ルノー・ジャポン 株式会社	2004年10月1日
631	フェラーリジャパン 株式会社	2008年 7月1日
632	ワイ・エンジニアリング 株式会社	2008年12月1日
633	株式会社 RTC	2009年 6月1日
636	ピーシーアイ 株式会社	2010年10月1日
637	テスラモーターズジャパン 合同会社	2011年 2月1日
638	マセラティジャパン 株式会社	2011年 1月1日
639	株式会社 キャロッセ	2011年12月1日
641	マクラーレン オートモーティブ アジア プライベート リミテッド	2012年 5月1日
642	スカニアジャパン 株式会社	2012年 8月1日
643	エスシーアイ 株式会社	2014年11月1日
644	アストンマーティンジャパン 合同会社	2015年 4月1日
647	B－ON 株式会社	2020年 2月1日
648	BYD Auto Japan 株式会社	2022年11月1日
700	株式会社 加藤製作所	2004年12月1日
701	株式会社 小松製作所	2004年12月1日
702	東邦車輌 株式会社	2004年12月1日
703	コベルコ建機 株式会社	2005年 3月1日

◆ 自動車メーカー・輸入業者からの受託業務の再資源化量

品目	項目		2023年度	（参考）2022年度
フロン類	引取重量	CFC引取重量	2 kg	1 kg
		HFC引取重量	610 kg	571 kg
		合計引取重量	612 kg	572 kg
	引取台数	CFCの引取台数	8 台	12 台
		HFCの引取台数	2,784 台	2,610 台
		合計引取台数	2,792 台	2,622 台
エアバッグ類	引取個数	回収個数 ※1	5,736 個	4,737 個
		作動個数 ※2	15,346 個	13,562 個
		合計個数	21,082 個	18,299 個
	引取台数	回収台数	881 台	752 台
		作動台数	2,053 台	1,923 台
		一部回収／一部作動台数	77 台	53 台
		合計台数	3,011 台	2,728 台
	引取重量	引き取ったガス発生器の重量	3,952 kg	2,925 kg
ASR	引取台数	引き取った使用済自動車台数	3,271 台	2,940 台
	引取重量	引き取ったASRの重量	855 t	771 t

＜ 並行輸入車等の再資源化量等の実績 ＞

◆ 並行輸入車等の再資源化量

品目	項目		2023年度	(参考)2022年度
フロン類	引取重量	CFC引取重量	6 kg	6 kg
		HFC引取重量	501 kg	527 kg
		合計引取重量	507 kg	534 kg
	引取台数	CFCの引取台数	53 台	88 台
		HFCの引取台数	2,329 台	2,391 台
		合計引取台数	2,382 台	2,479 台
エアバッグ類	引取個数	回収個数 ※1	3,504 個	3,095 個
		作動個数 ※2	12,713 個	12,418 個
		合計個数	16,217 個	15,513 個
	引取台数	回収台数	685 台	688 台
		作動台数	1,690 台	1,750 台
		一部回収／一部作動台数	60 台	44 台
		合計台数	2,435 台	2,482 台
	引取重量	引き取ったガス発生器の重量	2,398 kg	1,949 kg
ASR	引取台数	引き取った使用済自動車台数	4,061 台	4,652 台
	引取重量	引き取ったASRの重量	1,126 t	1,295 t

◆ 収支

品目	項目	2023年度	(参考)2022年度
フロン類	払い渡しを受けた再資源化等預託金の総額	5,558,008 円	5,790,978 円
	破壊に要した費用の総額	4,490,901 円	4,735,202 円
	収支	1,067,107 円	1,055,776 円
エアバッグ類	払い渡しを受けた再資源化等預託金の総額	11,437,757 円	11,359,872 円
	再資源化等に要した費用の総額	7,941,410 円	8,013,233 円
	収支	3,496,347 円	3,346,639 円
ASR	払い渡しを受けた再資源化等預託金の総額	59,499,004 円	67,706,827 円
	再資源化等に要した費用の総額	78,741,924 円	72,331,002 円
	収支	−19,242,920 円	−4,624,175 円
三品目合計	払い渡しを受けた再資源化等預託金の総額	76,494,769 円	84,857,677 円
	再資源化等に要した費用の総額	91,174,235 円	85,079,437 円
	収支	−14,679,466 円	−221,760 円

＜ 再資源化の実施状況 ＞

◆ 再資源化率

品目	項目	2023年度	(参考)2022年度
エアバッグ類	引き取ったガス発生器の重量 ①	6,350 kg	4,874 kg
	引き取ったガス発生器で再利用できる状態にした重量 ②	6,150 kg	4,646 kg
	エアバッグ類再資源化率 ※3	96.9 %	95.3 %
ASR	引き取ったASRの重量 ③	1,982 t	2,065 t
	ASRリサイクル施設へ投入したASR重量 ④	1,982 t	2,065 t
	ASRリサイクル施設で生じた当該ASR由来の排出残さ重量 ⑤	65 t	70 t
	ASR再資源化率 ※4	96.7 %	96.6 %

※1 車体からエアバッグを取り外して、インフレーターを回収し、再資源化施設にてリサイクルする方法
※2 車体に取り付けたままエアバッグを展開しリサイクルする方法
※3 エアバッグ類再資源化率 ＝ 引取ガス発生器再利用重量(②) ／ 引取ガス発生器重量(①)

※4 ASR再資源化率 ＝ $\dfrac{\text{リサイクル施設投入ASR重量(④)} - \text{排出残さ重量(⑤)}}{\text{引取ASR重量(③)}}$

以 上